

特 集 農業改良版

土地整備と畜産に重点

三十六年度農業振興策

本年は農業振興策として、土地整備と畜産に重点を置く。土地整備は、農地の生産性を高め、農業の持続性を確保するため、農地の改良、排水、灌漑などの事業を実施する。畜産は、食糧増産と農村の所得向上を図るため、家畜の改良、飼料の増産、防疫などの事業を実施する。

施肥法に問題を残す 耕うん機とイナ作

農地の施肥法は、耕うん機とイナ作の普及に伴って、施肥の効率化が進んでいる。しかし、施肥の不均一や肥料の浪費などの問題が残っている。特に、イナ作の普及に伴って、肥料の施用が不均一になり、肥料の効果が十分に発揮されていない。また、耕うん機の普及に伴って、肥料の施用が浅くなり、肥料の効果が十分に発揮されていない。



かキメテが苗作りと降雪 有利な改良苗代で

降雪による農地の凍結や、苗作りの遅延などの問題が、農業生産に大きな影響を与えている。しかし、改良された苗代を使用することで、降雪による被害を軽減し、苗作りの効率を高めることができる。改良された苗代は、排水性が良く、凍結しにくい構造になっている。また、苗の生育が促進されるため、収穫量も増加する。

別表(1) 主なる苗代別育苗適期表

育苗期	出た苗の育苗適期表
早播	① 播種期：4月上旬～中旬 ② 出た苗の育苗適期表：4月下旬～5月上旬
中播	① 播種期：4月中旬～下旬 ② 出た苗の育苗適期表：5月上旬～中旬
遅播	① 播種期：4月下旬～5月上旬 ② 出た苗の育苗適期表：5月中旬～下旬

育苗の適期は、気候や土壌の状態によって異なる。早播は、生育期間が長くなるため、収穫量が増える。しかし、降雪による被害のリスクも高くなる。中播は、生育期間と降雪リスクのバランスが取れている。遅播は、降雪による被害のリスクが低くなるが、生育期間が短くなるため、収穫量が減少する。

別表(2) 苗代作業計画例(秋田県)

作業	時期	備考
田舎草取り	4月上旬	
田舎草取り	4月中旬	
田舎草取り	4月下旬	
田舎草取り	5月上旬	
田舎草取り	5月中旬	
田舎草取り	5月下旬	
田舎草取り	6月上旬	
田舎草取り	6月中旬	
田舎草取り	6月下旬	
田舎草取り	7月上旬	
田舎草取り	7月中旬	
田舎草取り	7月下旬	
田舎草取り	8月上旬	
田舎草取り	8月中旬	
田舎草取り	8月下旬	
田舎草取り	9月上旬	
田舎草取り	9月中旬	
田舎草取り	9月下旬	
田舎草取り	10月上旬	

苗代作業計画は、気候や土壌の状態によって異なる。秋田県では、降雪による被害のリスクが高いため、早播は避けるべきである。中播が最も適している。遅播は、降雪による被害のリスクが低くなるが、生育期間が短くなるため、収穫量が減少する。

完全消毒で 健全な種もみは 完全な種もみは、農作物の生産性を高めるために不可欠である。完全な種もみは、病害や雑草の感染を防ぎ、作物の生育を促進する。完全な種もみを確保するためには、種もみの選別と消毒が重要である。種もみの選別は、機械を使用して行うことが効果的である。消毒は、化学薬品を使用して行うことが効果的である。

(別表) 農薬の施用計画

薬剤名	濃度	時間	時期	液温
殺菌剤	水 10g	6~8時間	灌水後	15°C
殺虫剤	5g	2~4時間	灌水前	
殺菌剤	400倍			
殺菌剤	1,000倍~2,000倍			
殺菌剤	水 10g	5g	10~12時間	灌水後(萌芽前)



農業基本法シリーズ(1)

農業基本法は、農業の発展と農村の豊かさを確保するための重要な法律です。この法律は、農業の生産性を向上させ、農家の所得を安定させることを目的としています。また、農業の持続可能な発展を促進し、農村地域の活性化を図ることも重要な役割を果たしています。

農業基本法はなぜ

つくられるのか

農業基本法は、戦後日本の経済復興と食糧安全保障の観点から制定されました。当時の日本は、戦災復興と食糧不足の問題を抱えており、農業の生産性を向上させる必要がありました。また、農家の所得を安定させることで、農村地域の安定を図ることも重要な課題となっていました。

飼料作物の栽培

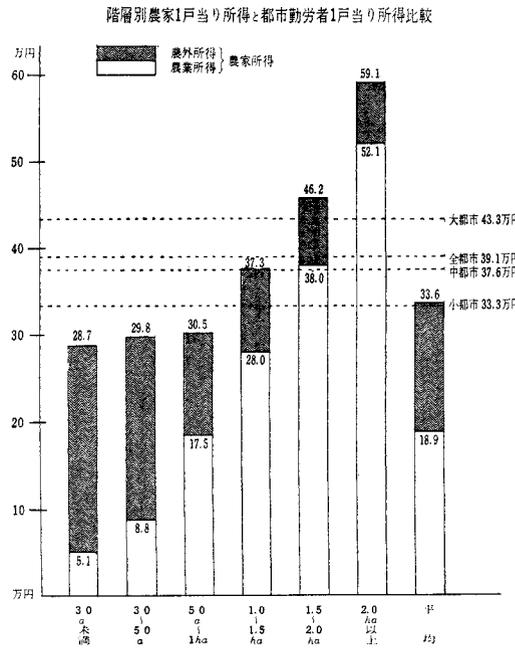
これからの要請

飼料作物の栽培は、畜産の発展を支える重要な要素です。近年、畜産物の需要が増加しているため、飼料作物の生産も増加しています。しかし、飼料作物の栽培には、適切な品種の選定と栽培技術の向上が必要です。また、天候変動による生産リスクの軽減も重要な課題となっています。

飼料作物	10aあたり
青刈とうもろこし	120
青刈大豆	3.0
青刈小麦	3.0
青刈大麦	10.0

野菜畑の準備と管理

野菜畑の準備と管理は、野菜の収穫量と品質を決定する重要な要素です。適切な土壌改良と肥料の施用は、野菜の健全な生育を促します。また、定期的な除草と病害虫の予防も重要な管理項目です。野菜畑の準備と管理を丁寧に行うことで、高品質な野菜の収穫が可能となります。



作物名	10aあたり
実取大豆	4.0
青刈大豆	3.0
小麦	1.5
大麦	1.0

野菜畑の準備と管理は、野菜の収穫量と品質を決定する重要な要素です。適切な土壌改良と肥料の施用は、野菜の健全な生育を促します。また、定期的な除草と病害虫の予防も重要な管理項目です。野菜畑の準備と管理を丁寧に行うことで、高品質な野菜の収穫が可能となります。

